

大名町教会NEWS

【ホームページ】 <http://www.daimyomachi-c.or.jp/>

発行責任者：中村 彰 神父

【ミサ時間】 主日：7時・9時30分 / ベトナム語(第2・第4日曜日)：14時 / 英語：16時

〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名2-7-7 Tel: 092-741-3687 Fax: 092-741-5107

【巡】カトリック能古島教会 ミサ(土) 18時 〒819-0012 福岡県福岡市西区能古弁当1621-12



福岡教区年間テーマ：キリストの愛に駆り立てられて、人々と歩む教会

大名町教会年間テーマ：

すべての人にキリストの光でありなさい

Be the light of Christ to everyone

12月：待降節・降誕祭

「主の降誕祭」ミサ時間案内

24日(土) 18:00
20:00 (アベイヤ司教司式)
22:00
25日(日) 7:00
9:30 (アベイヤ司教司式)
15:00 (能古島)



「神の母聖マリア」ミサ時間案内

31日(土) 19:00 (アベイヤ司教司式)
1/1日(日) 9:00 (アベイヤ司教司式)
11:00

第73回 福岡市民クリスマス

日時：12月12日(月) 18時開場
場所：福岡市民会館 大ホール

アベイヤ司教様
からのクリスマス
メッセージあり

神が小さな幼子として生まれたことは、わたしたち人間が教えない限り、歩くことも話すこともできない、という意味です。これがイエスの物語であって、成長するために人間の手を必要としたということです。神はいわば、こう言われたのです。『わたしは弱くありたい。そうすることで、あなたがわたしを愛することができるように。わたしが弱くなって、あなたがわたしを世話することで、わたしの愛に応じられるようにすること以上の助けがあるでしょうか』。神は、もろさを身に帯びて、飼葉桶に身をゆだね、十字架にかけられたほどの神です。『そこにいてくれませんか』と、本音でわたしたちに語りかけるほどの神なのです。福音書はイエスの幼少時代と青年時代について沈黙を守っていますが、この沈黙こそ多くを語っています。それは、わたしたちのごくありふれた日々の暮らしを共に暮らすために来られたということです。イエスは、わたしたち人間と同じように見なされたいと願われたのです。

レナト・フィリピーニ 神父

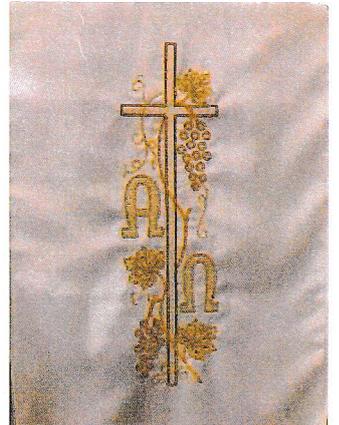
ゆるしの秘跡：通常、毎週土曜日の午前中。それ以外にも希望される方は司祭にご相談ください。

“朗読台布について”

四色の朗読台布を購入することができました。ルーカス神父様が手配してくださいました。描かれたデザインは、いくつかある中から、典礼（暦）の意味を考えて選びました。朗読台に掛けられている布を目で見て、典礼（暦）とその意味を感じていただければと思います。

白色：輝きと命、勝利と喜び、純潔を表す。降誕祭と復活祭、それぞれに続く降誕節と復活節に用いる。また、キリストの諸神秘を祝う祝祭日（公現、洗礼、変容、復活、昇天など）、聖母マリア、天使、殉教者ではない聖人の祝祭日と記念日に用いられる。さらに、葬儀においても復活と永遠の命への希望を象徴する白が用いられる。

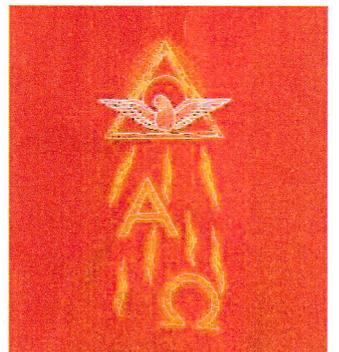
大きな十字架に絡みつくぶどうの木の枝は、幹であるキリストに結ばれているわたしたち。「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である」（ヨハネ 15・4 - 5）。



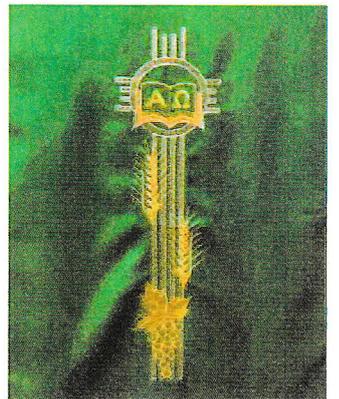
赤色：燃え上がる炎の色であり、使徒たちにくださった聖霊を表し、聖霊降臨の主日に用いられる。

また、血（命までささげ尽くす愛）を表し、主の受難の主日、聖金曜日、十字架称賛の祝日、使徒、福音記者、殉教者の祝祭日と記念日などに用いられる。

鳩は、父と子の交わりである聖霊と、人間が神との和解によっていただいた平和を表している。



緑色：自然界にあふれる色であり、成長する新芽の色。命、成長、希望を表し、神の国の成長を祝い、その完成への道を歩む「年間」の季節に用いられる。麦の穂はパンを意味し、信仰の豊かな実りと謙虚な生き方を表す。十字架の縦が長く天の国への道を導いているよう。



紫色：節制、悔い改め、悲しみ、回心、慎み、待望を表す。主の降誕と再臨を待ち望む待降節、主の復活を準備する四旬節に用いられる。その他、ゆるしの秘跡、死者のためのミサなどに用いられることがある。

イエスと二人の罪人の十字架、いばらの冠、流れ落ちる涙と血が描かれている。十字架からの光が世を照らしているよう。



なお、四色とも、初めと終わりである神・キリストを表すA(アルファ)とΩ(オメガ)が書かれている。新しい式次第の「ことば」によるミサも始まり、戸惑いもありますが少しずつ慣れていきましょう。

七五三
おめでとう

主と共に歩み、主の愛に生きよう！



中村神父様より祝福を受ける子どもたち

11月13日(日)年間第33主日ミサの中で、中村神父様司式のもと4名の子どもたちの七五三祝福式が行われました。これからも神様の愛の中で、豊かに育まれていく子どもたちの成長を大名町教会共同体全体で暖かく見守り続けていきましょう。

★ 福音カード原画展 ★

11月6日(日)に1階エントランスホールにて福音カード原画展が開催されました！



大名町教会のエントランスホールを使用、福音カード原画展を通して、み言葉の分かち合い、また沢山のカードをお求めいただきありがとうございました。売上金は円ブリオ、いのちの基金に送ります。

皆様の上に主の豊かな祝福がありますようにお祈りいたします。

鳥栖教会 稲葉人志

<11月の現勢>

【七五三】

フランシスコ	7歳	高木 穂
ペトロ	7歳	濱崎 翼
ヨセフ	5歳	上田 龍雅
ベネディクト	3歳	豊嶋 泰知
テレジア	3歳	田村 雪乃

【帰天】

マリア・アスンタ	濱田 誓子
----------	-------

★ 11月の宣教司牧評議会 ★

【検討事項】

1. 宣教司牧方針を受けて、共同体の目標について
→回答44件、有効回答22件。
設問不備もあり、ご理解が得られなく、再度2つの大項目によりアンケートを実施。
2. 信徒総会での営繕に関する結果報告について
→実施状況と今後の計画について時系列に対比して資料を作成、掲示板に一定期間掲示する。
3. コロナ感染対策の見直しについて
→感染拡大傾向にあり、現状維持とする。
4. 聖歌隊により聖歌を歌うことについて
→準備、練習期間が十分ではないため、現状は聖歌は歌わないこととする。
5. エントランスホールの活用について
→パウロ会との話し合いが11月29に予定、状況説明あり。
6. 宣教司牧評議委員の改選について
→①現在の評議委員の任期は2023年、定例信徒総会までとする。
②選考方法については前回同様、選考協議会を設置する。
③選考協議会の委員構成5名から10名。推薦候補者の人選などを検討。
7. 教会掃除の区割りについて
→典礼への参加者減少、高齢化による機能不全。班ごとの掃除について次回、継続審議。
8. 転入信徒への情報提供について
→12月度の評議会にて提案予定。
9. 待降節およびクリスマス準備について
→①クリスマスキャロル：実施しない。アドベントクランツ：実施予定。
②12月25日ミサ後の教会学校クリスマス会にアベイヤ司教様参加予定。
③クリスマス飾り付け：11月27日の大掃除の後実施。
④入場制限、座席指定、コロナ対策、クリスマス案内チラシ、受付体制などについては、12月評議会にて検討予定。
10. 宣教司牧評議会、準備会の運営効率化について
→評議会の議題や資料は事前に各委員にメール送信、事前確認、理解の上審議を行う。

～♪ 主と共に働くわれらは 主と共にその実りをあじわう ♪～

私たちは、言葉や行動で、知らず、知らずのうちに人を傷つけ、傷つけられている現実生きています。それも教会の姿なのでしょう。蒔いた種は、蒔かれた畑、共同体はこの1年どうだったのでしょうか。すべてをご存じの神様は私たちのすぐそばで見えておられます。降誕祭を迎える季節、自分自身を、共同体を見つめなおし赦しを願う季節。コロナ禍3年、いつものお声が、お姿が見えません。信仰に目覚め、み言葉に生きようとするも、非難、中傷にあい教会を離れてしまった方、つまずき、あきらめ心痛む話に涙したことも、コロナのため、体力、精神的に疲れ、教会へ足を運ぶことができなくなった方も、急激な変化に天に召された方もおられるのです。新しい典礼が始まりました。心豊かに、イエス様を中心に交わりと一致を目指し、ミサにあずかりたいものです。蒔いた種、蒔かれた大名町共同体という畑が来る年、宣教司牧方針の目標が、個人、団体、そして共同体として豊に推進され、キリストのみ言葉を証ししていくことができますように。種を手に涙を流して出ていく人は、束をかかえ 喜びにあふれて帰ってくる 神は私たちに偉大な業を行われ わたしたちは喜びにあふれた。そのような1年となりますように。

フランシスコ・ザベリオ 濱崎公夫